

＝ 令和4年度 年度始め挨拶 ＝



代表取締役社長 戸沼 淳

皆さんのおかげで、令和3年度も無事に終わることが出来ました。あらためて感謝申し上げます。

世界では、いまだに収まりを見せないオミクロン株の猛威とロシアのウクライナ侵攻に伴う経済の混乱で、いままでの常識や慣例では対応できない事態が起きています。一方で、新型コロナウイルスの世界的流行は、さまざまな業種や分野で推奨されているDX（デジタルトランスフォーメーション）の分野においては、短期間で私たちの働き方を大きく変えました。テレワークやZoomなどを利用した会議、オンラインの講演会などが当たり前になり、私自身、移動時間や拘束時間に融通が利き、有効に時間が使えるようになったと感じています。ここでいうDXの意義は、経産省では「企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること」と定義づけられています。IT化、デジタル化することによって、業務が増えたり、わかりづらくなったり、また、現地での確認不足や指示、コミュニケーション不足に陥るような事態は本末転倒です。目的を忘れて、手段だけを追うようなことのないよう心がけていただきたいと思います。

管内の公共工事につきましては、高規格道路の完成や函館市の計画が完了しており、目玉となる事業は計画されていないようです。しかし、気候変動による豪雨、大雪などの自然災害は年々激甚化・頻発化しており、それに伴う土砂災害、記憶に新しいところでホワイトアウトによる高規格道路の多重衝突事故、宮城・福島など大きな地震などが続いております。テレワークの推進やオフィス機能の分散など、見直されている中、災害に強いことが新たな都市の魅力となり、地方都市こそ防災に力を入れ、産業の中心へと変わってほしいと願っております。

さて、当社の昨年度を振り返ってみますと、北海道開発局の「令和3年度工事成績優秀企業認定」をはじめ、梅木義彦さんが北海道森林管理局長賞、吉川さんが東北森林管理局長賞、吉田君が渡島総合振興局より、優秀技術者として表彰されております。また、長年、当社の柱として、技術開発や施工能力向上に取り組んできたノンフレーム工法ですが、このたびノンフレーム工法研究会が設立20周年を迎え、当社が功労者表彰を受けました。今年度は当社の特許技術である「転石固定工」の事業化に向けてさらに飛躍していきたいと思っております。



安全と衛生



陽春号

戸沼岩崎建設株式会社 発行

令和4年4月15日

<http://www.tonuma.com/>

第251号



安全面に関しましては、交通死亡災害を含む7件の労働災害がありました。安全パトロールや安全衛生委員会などを通して意識の高揚を図っていますが、今一度、自分たちが「重量物」「機械器具」「重機車両」などリスクの高いものに囲まれて仕事をしていることを認識し、緊張感を持った中で働いてほしいと思います。

最後に「孫子の兵法書」の中に「正をもって合し、奇をもって勝つ」というのがあります。私は「正は基本をしっかり守ること、奇は変化に十分対応すること」と理解しております。社会は大きな変化の中におりますが、企業本来の目的を忘れず、柔軟に変化を受け入れ、皆さんとともに、激動の時代を闘い抜いていきたいと思いません。今年度もよろしくお祈りします。（4月1日朝礼 社長挨拶）

ノンフレーム工事 安全教育

4月1日（金）、函館建設業協会3階議室に於いて、興伸工業の雇入れ・送り出し教育に当社職員も参加して、木村常務他を講師・問題提起者にノンフレーム工事での作業をテーマに研修会を開催しました。作業手順書を読み合わせ、現場から提出されたヒヤリハットの対応策を考え、安全作業を徹底することが如何に重要かを再確認しました。



紹介 札幌営業所 小西倫展(とものぶ) 所長



小西所長は昭和36年3月、岩見沢市生まれ。昭和53年3月、岩見沢農業高等学校林業科を卒業、同年4月北海道に入庁。空知支庁林務課林道係を最初に、胆振、宗谷、渡島、日高、後志、檜山等の各支庁・振興局の治山計画や森林土木の業務に携わり、検査専門員を経て、令和2年3月定年退職。退職後、後志総合振興局林務課での再任用を経て、本年4月、戸沼岩崎建設に入社しました。趣味はウォーキング。「長年培った森林土木の経験を活かし戸沼岩崎建設の施工管理や現場監理の向上に貢献したい」と語っています。

地域貢献

〈 松前藩屋敷 塗装ボランティア 〉

3月10日（木）、一般国道228号 上ノ国町 小砂子トンネル補修外一連工事（現場代理人；富吉正人）は、高木組の2工事現場と合同で松前藩屋敷の外壁塗り替えのボランティア活動を行いました。

当社からは渡邊技術部長をはじめ4名、興伸工業から6名が参加しました。



〈 北斗市戸切地陣屋跡 清掃ボランティア 〉

4月13日（水）、興伸工業と合同で3年連続して北斗市の戸切地陣屋跡周辺及び野崎公園駐車場の路面清掃、ゴミ収集等のボランティア活動を行いました。



〈 函館工業高校野球部グラウンド 清掃ボランティア 〉

4月15日（金）、興伸工業と合同で毎春恒例の函館工業高校野球部グラウンド周辺の清掃ボランティア活動を行いました。参加者の中には函工OBも多く、母校への思いも込めて取り組みました。



函館総合建設高等職業訓練校 修了式



3月25日（金）、函館建設業協会3階会議室に於いて令和3年度の函館総合建設高等職業訓練校の修了式が行われました。当社の高崎海耀君は修了証書と技能照査合格書、渡島地方技能訓練協会会長賞をいただきました。

アルコールチェック 義務化

4月1日より道路交通法施行規則の一部改正に伴い、社用車（白ナンバー）の運転前後にアルコールチェックが「義務化」されました。9月30日までは目視等での確認で構いませんが、10月1日以降はアルコール検知器でチェックを行い、その記録を1年間保存します。